

日光スノーシューイング・ウォーク講習会

2021

雪の上を「スノーシュー」で歩いてみたい！

初心者の方、経験者の方で班分けがありますので、ご自身に合わせたツアーをお楽しみ頂けます。今回は座学なしで、全てフィールドで行います。



肌を刺すような寒さの中、ひたすらに白い雪を踏みしめて、そこにしかない冬だけの奥日光を味わってはみませんか。

開催日：2021年1月24日(日) 9:30~13:00

会場：日光湯元ビジターセンター(日光湯元温泉)および周辺フィールド

参加費：3,000円(レンタル代別途)

※昼食はありませんので、行動食の持参をお勧めします

定員：30名(先着順)

申込み先：日光湯元ビジターセンター(0288-62-2321)

申込期間：2020年11月21日(土)~2021年1月20日(水)

詳細はビジターセンターHPでも、後ほどお知らせします。



たまにHPをチェックしてみてくださいね~

ビジターセンターでは、本誌に掲載した内容以外にも、冬のイベントを随時企画予定です！



ビジターセンター開館日・開館時間のご案内

12月~1月 土日祝のみ開館 9:30~16:30 (平日休館)

2月~3月 水曜を除いて開館 9:30~16:30 (水曜休館)

奥日光の自然情報誌

楓通信 No.143

発行：自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

2020年12月初旬発行

季刊 無料

次号2021年3月初旬発行予定

『楓通信』定期購読について

本誌は無料です。定期購読は、2年単位(発行数8部)で1,000円(送料・手数料・税込)となっております。

購読をご希望の方は、日光湯元ビジターセンターへ直接お越しになり申込書にご記入いただくか、お電話にてお問合せくださいませ。

不明点やご質問がございましたら、楓通信担当、宮城までご連絡ください。TEL：0288-62-2461

奥日光の自然情報誌

楓通信

2020年度 No.143

12-2月号



冬の奥日光に
おいでよ！

今号のみどころ

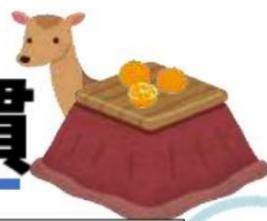
・第4回 One Team 冬のいろは坂を攻略せよ！

・冬限定の自然の神秘 奥日光の氷の芸術作品

マニアックに語れ。 其三 のコーナー

ウシの仲間

シカに学ぶ生活習慣



コロナ禍の中での年末年始、皆様はいかがお過ごしでしょうか。来年の干支である丑年を控え、家からあまり出られずに牛のようなのんびりとした生活を送っていると、丑年を迎える前にこちらが牛になってしまう……かも知れません。牛の仲間であるシカの生活を反面教師にし、正月明けから元気に過ごしましょう。

シカの食っちゃ寝生活

シカは2時間おきに「食べる」と「休む」を繰り返します。人間の場合、食後に休むのはさして問題はありませんが、睡眠を取るとなる寝る前の夜間の食事は肥満につながる可能性があります(岩部ほか 2017)。冬休み中に、連日「明日も家にいるから」と夜更かしをし、「今日は仕事が無いから」と昼まで布団と友達になっていると、体が錆びついてしまいます。また、殆どの野生動物と同様に、シカは歯磨きをしません。奥歯には草の食べかすが挟まっています。睡眠時は唾液の分泌が少なく、虫歯の原因となる菌類が活性化します。さらに、年始のおせち料理は栗きんとんや甘露煮などの甘いものも多く、ただでさえ虫歯になりやすい環境です。年末年始は体を休めても、歯磨きはお休みしないで下さい。



食べ物を反芻(はんすう)する

シカが2時間おきに「食べる」「休む」を繰り返すのは、食べた植物を消化するためです。野草はとても繊維質なので、基本的に消化が難しいです。牛や羊、シカ等は胃を4個持っており、1個目の胃の中に多く住む微生物が植物の繊維を分解して栄養にできる形にします。ただし、一度では微生物が分解しきれないので、2個目の胃がポンプの様になって、植物を口へと送ります。口での咀嚼と微生物の分解を何度も繰り返すので、これを「反芻」と呼びます。

人間がこのような吐き戻しをしながら食事を続けた場合、胃酸によって食道が傷つき、歯が溶け、虫歯や歯がなくなる原因となります。

まとめ

- 歯磨きで虫歯を防ぎましょう。虫歯菌に休日はありません。
- 人間は反芻動物ではないので、反芻はしないでください。

引用文献

岩部ほか(2017)日本人の成人と子どもにおける夜遅い食事及び夜食と肥満との関連



文・デザイン：すず

これを読んで奥日光の冬に備えよう！

第4回 One Team 冬のいろは坂を攻略せよ！

2020年の春から日光湯元ビジターセンターで働いているイシツカと申します。前職は東〇バス日光営業所でバス運転士でしたが、奥日光の自然をもっと体感したくて転職しました。さて。にぎやかな紅葉シーズンが終わり、寒い寒い冬がやって来ました。読者の皆様は冬の遊び方を色々ご存じかと思いますが、奥日光へお車で向かう道中、雪道や凍結路を走るには不安があると思います。バスを運転していた経験から、アドバイスさせていただきます。

【質問1】ズバリ！このカーブが危ない！という具体的な場所を教えてください。

いろは坂は、カーブごとに青い標識でカーブ番号が書かれています。まずは第2いろは坂の登りです。序盤の10カーブあたりから傾斜が急になるので、油断した県外ナンバーの車がスリップしてよく立ち往生しています。

黒髪平の急カーブも要注意です。思わぬ急カーブに曲がりきれずガードレールにぶつかったり、横転した車をよく見ます…。

いろは坂が終わった直後の明智平のトンネルも、出口付近が凍結していることが多く、また、その先のカーブも急なので、油断は禁物です。



下りの第1いろは坂は、34から35カーブにかけてバスの車体が左右に振られるくらい急なカーブです。日陰は凍結していますので気をつけてください。42から44カーブも同様です。ここでハンドルをきりすぎると……ご想像にお任せします。

最後の48カーブも油断しがちです。橋を渡ると、いろは坂が終わったことに安心してか、スリップした車が停車していることがあります。気を抜かず、前方の安全確認をして進んでください。

結局のところ、よく言われる「急なハンドル操作をしない」「スピードを出さない」が何よりのポイントなんですよ。冬のいろは坂は上記2点と、カーブを曲がった先に立ち往生した車がいるかもしれない、と常に考えて運転する、これに尽きます。

【質問2】東〇バスの先輩運転士からの教えなどあれば教えてください。

基本的にいろは坂は、夜に積雪があっても翌朝から晴れていれば道路に日が当たり、雪は溶けやすくなっています。怖いのは凍結した日陰の部分と、悪天候のとき。ベテラン運転士でも、悪い気象条件の場合、運転する速度は人が歩くスピードでも速いくらいだと話していました。

今回は、冬の特集ということで注意喚起的な内容になってしまいましたが、次号では、運転手時代に遭遇したあんな場面やこんな場面、奥日光最大の繁忙期である紅葉の時期の問題など、バスの運転手ならではののおもしろエピソードを、引き続きイシツカに聞いていきたいと思っております。お楽しみに！

スノーシューやスキーなどのアクティビティはもちろん楽しいですが、極寒の地ならではの自然現象も楽しんでほしい！というわけで、今回は「氷特集」です！フィールドでこんなを見つけちゃったらお子さんは大喜び間違いなし！お父さんお母さん、じいじ、ばあばの皆さん、特に必見です！

【しぶき氷】

湖の波しぶきが湖岸にある岩や木に氷結して、少しずつ成長することでできる、氷の彫刻のような造形物のこと。

主に、中禅寺湖や湯ノ湖などで見ることができます。

(左の画像は岩バージョン)

こちらは樹木バージョン。ペンキを上から垂らしているかのような、なんともいえないこのドロっと感というか、きれいだけどなんだか不気味な感じがたまりません。

これらが自然の力だけでできているというのは、何度見ても不思議なものです。



【霜】

霜は奥日光でなくとも冬に見られる自然現象ですが、霜がおりた日の朝に戦場ヶ原などにハイキングに出かけると、植物や木々がいつもと全く違うように見えます。ただの切り株だってこんな芸術作品に！

霜がおりた戦場ヶ原や小田代原は一面がうっすらと白んで「薄化粧した」なんて言われたりします。良い表現ですよ～。ぴったりな表現。

私は寒いのが苦手なので冬の奥日光での生活はしんどいですが、寒さのおかげで寂しげな山々にこうした楽しみができるんですから、困ったものです(?)



奥日光の

氷の芸術作品

【霜柱】

冬にはごく普通に見られる霜柱ですが、奥日光では…見てください！3段重ねですよ！トリプル霜柱！！

茨城県出身の私が奥日光の冬で最初にびっくりしたのは、いろは坂が冬期閉鎖にならないこととコレでした。踏んだ時の感覚がもうね、違います。ボリューム感が。音が。



～霜柱ができるしくみ～

- ①冬の冷えた夜に水分が地表で凍る
- ②地中の水分が“毛細管現象”により地表の方へ（下から上へ）移動する
- ③地表近くの凍った部分を押し上げながらニョキニョキ成長

⇒霜柱が完成！

本来なら暖かい日中には融けてしましますが、日中でも気温がマイナスになることがしょっちゅうある奥日光では、融けずに残った霜柱の下からさらに霜柱ができ、このようなトリプル霜柱になるというわけです。どれだけ寒いって話ですね。。

【つらら】

つららだって奥日光のものは一味違います。写真だと大きさが伝わりませんが、直径3cmとか、長さ60cmとか、街中のそれとは規模が違います。でっかいのです。ごっついのです。ビジターセンターの屋根にもズラッとくっついてます。つらは屋根に積もった雪が融けて凍ったものなので、積雪の多い奥日光では納得です。

屋根をはじめあらゆる場所につららができるのでぜひ観察していただきたいのですが、近くでのんびり眺めていると、突然上から降ってきてケガをするので、離れて観察してください。つららとのソーシャルディスタンス……なんでもないです。

雄大な雪景色も魅力の奥日光ですが、もっと近くにこんな芸術作品がたくさんあるのです！あなただけの作品を、ぜひ探してみてくださいね！

文・みやぎ

ビジターセンターのイベント

湯元VCスタッフとゼロから始めるスノーシュー 試しにやってみたい方も本格的に始めたい方も大歓迎！

1月17日(日)
9:30-14:30

難しい座学はなし！とにかくフィールドに出て、楽しみながら体で覚えましょう！少人数で行う小規模なイベントなので、初めての方も blanks のある方も、ぜひお気軽にご参加ください！

【ルート】湯元スノーシューコース

参加費 3,000 円
(レンタル代別途必要)

対象：現地に集合できる**小学生以上**の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所：日光湯元ビジターセンター
定員：10名 先着順 (要予約)



これであなたも足跡マスター！アニマルトラッキング スノーシューの楽しみは、ただ雪の中を歩くだけじゃない！

2月7日&13日
10:00-14:00

冬の森の中で動物の足跡を見つけること、よくありますよね？その動物の正体があったらワクワクしませんか？足跡を辿るとその動物の行動も分析できる?!探偵気分です冬の森を楽しみましょう！

【開催場所】湯元スノーシューコース

参加費 3,000 円
(レンタル代別途必要)

対象：現地に集合できる**小学生以上**の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所：日光湯元ビジターセンター
定員：先着 10名 (要予約)



【修験道シリーズ5】冬の神秘 御沢金剛峡

夏も冬も写真映えする超オススメ修験道！

2月11日(木・祝)
9:30-15:00

対象：現地に集合できる**小学生以上**の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所：光徳駐車場
定員：10名 先着順 (要予約)

毎回大人気の金剛峡が今年度の修験道シリーズのシメを飾ります！夏は苔むした雰囲気ですが、冬は雪に覆われてまたそれが幻想的！より非日常感を味わえること間違いなし！ご応募はお早めに！

※特別許可を得て開催

【ルート】光徳P⇄御沢金剛峡

参加費 3,000 円
(レンタル代別途必要)



冬の奥日光 裏スポットてんこ盛り！

～静寂な白銀の森と水源を巡る～

2月20日(土)
9:30-14:00

対象：現地に集合できる**小学生以上**の方
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)
集合場所：竜頭ノ滝上駐車場
定員：10名 先着順 (要予約)

ディープな奥日光を手軽に堪能したい、そんなワガママなあなたにオススメ！白銀の天然林や水源、その他にも見どころたっぷりのコスパ抜群イベントです。

※特別許可を得て開催

【ルート】竜頭ノ滝上P⇄地獄沢

参加費 3,000 円
(レンタル代別途必要)



自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

FAX：0288-62-2378

お申込み先

お申込みの際、令和元年・2年実施イベントの参加の有無、氏名・年齢、郵便番号・住所・電話及び当日連絡先、交通手段をお知らせください。(日程や内容が変更になる場合があります。予めご了承ください)